



埼玉県立浦和西高等学校  
Urawanishi High School

発行日 平成31年3月23日

学校通信 ～西高は今～

発行責任者 校長 高野 能弘

HP <http://www.urawanishi-h.spec.ed.jp>

## 至福の時間

高野 能弘

西高への着任は私にとってとても意外なものでした。校長の多くが熱望する伝統校に着任するとは期待もしていなかったのに、晴天の霹靂ともいえる人事異動でした。一言でいえば、身に余る光栄でした。

私の仕事に対する姿勢は、目の前の状況をより良くすることです。そんな心構えで西高でのスタートを切りました。教育は意図的で、組織的な営為であると私は考えています。生徒・保護者、教職員、同窓生、地域の方々をはじめ、西高に関わる全ての方々と「チーム西高」として西高の価値を高め、西高の存在意義を改めて証明することが必要であると考えました。西高をどのような学校にしたいか、西高生にどのような若者になってほしいかを考え、学校経営方針を考えました。前任の金子幸誠校長先生の学校グランドデザイン「UN（浦和西高）プロジェクト80」を継承し、教育哲学（ビジョン）を根拠に据えた『UNビジョン・プロジェクト80』を考えました。西高は着実に好ましい方向に進んでいると実感しました。そして、私の在任中はこの歩みをさらに着実なものとし、前進させることが私の役割と考えました。

激動の世の中、西高生には「確かで高度な学力」、  
「信頼される人間力」、「たくましく健やかな心身」を  
培い、「正しく、賢く、しなやかに、力強く、心優しく」  
社会と関わり牽引していく若者になってほしいと思  
いました。西高生自身が社会に存在すること自体が彼ら  
の社会貢献であると思っています。

我が国は教育改革の最中でその大きな潮流のなか、  
「見逃しの三振」は許されないと肝に銘じ、やるべきこ  
とは確実に取り組み、前進させることを心に留めまし  
た。大学改革を見据え、高校改革、高大接続改革の取り

組みを確実に前進させることが西高の発展につながると  
強く意識しました。

生徒の自己実現、進路実現は私にとって中心的な課題  
の一つでした。変化が大きく、速い社会において我々は  
学び続け、生きる力を持ち続けなければなりません。文  
系・理系といったパラダイムでは捉えきれない知の構造  
に立ち向かうためには自らの学びを閉ざすことなく、広  
範かつ深遠な学びが求められます。その結果として具  
体的には、生徒の三分の一は国公立大学、三分の二はおも  
に首都圏に所在する生徒にとって魅力のある私立大学へ  
の進路実現を着実にすることだと考えました。自らを成  
長させるためには、教育環境はとても重要です。何を学  
ぶか、誰とともに学ぶかはとても大切です。得心の進路  
実現は生徒・保護者をはじめ多くの方々から期待されて  
いることだと強く自覚しました。これからも西高の教育  
力を高め、生徒に還元していくことは西高にとっての命  
題です。

西高はスクールモットーに「自主・自立」を掲げてい  
ます。人生は意思決定・行動選択の連続です。西高の卒  
業生で、現在九州大学教授の林克彦氏がかつて西高生へ  
の講演で示した「西高力（自ら考え、課題を発見し、そ  
の課題を解決する力）」はとても示唆に富んでいます。  
平成二十七年六月の公職選挙法改正で、満二十歳以上だ  
った選挙権年齢が満18歳以上に引き下げられ、平成2  
8年6月に施行されています。平成30年6月13日、  
民法の成年年齢を20歳から18歳に引き下げること等  
を内容とする民法の一部を改正する法律が成立しまし  
た。我が国における成年年齢の見直しは、約140年ぶ  
りです。18歳以上の若者が自らの判断によって人生を  
選択し、積極的に社会参加し、社会を活力あるものとし  
る力を養うことが大いに期待されています。自ら判断し

社会の課題を多面的・多角的に考え、自らの考えを形成していく力が必要です。各人の考えを調整し、よりよい社会を構築していく力も重要となります。とりわけ、根拠をもって自分の考えを主張し説得する力を身に付けていくことが求められます。社会を構成するすべての人々全員がリーダーシップを発揮する機会を持ち、人類の英知を結集してよりよい社会を構築することが持続可能な社会を目指すうえで重要な視点となります。

このような想いで西高の教育に関われたことは私にとってまさに、至福の時間でした。

「あなたの人生はあなたにしか生きられません。」

「遠慮することなく自らの人生を生き生きと生き抜いてほしい」

これが私からの西高生へのエールです。

今日の自分を超えて行け、すべての大人を超えて行け。

「自主 自立 輝け 西高生」

### 1 文教大学による「高校生対象英語ワークショップ」

(2/15)

2月15日(金)、本校の卒業生(1980年卒)であり、文教大学国際学部国際理解学科教授・同大学院国際学研究所教授の阿野幸一先生とゼミ生30名をお迎えし、1学年対象の「高校生対象英語ワークショップ」を実施しました。ワークショップでは、阿野教授によるAIが発展していく中での英語を学ぶ重要性や、シチュエーションによって異なる英語表現等についての講義と、大学生によるグループワークを行いました。生徒たちは、活発に活動しながら、積極的に発言していました。



### 2 第2回西高づくり懇話会 (2/16)

今年度最後の公開授業が行われた午後、懇話会委員さんにお集まりいただき、第2回西高づくり懇話会を行いました。校長から本年度の本校の取り組みをまとめた学校自己評価システムシートについての説明の後、委員の皆様から意見・要望・評価等をいただきました。

参加した生徒の皆さんも活発に話をしてくれて、非常に有意義な懇話会になりました。



### 3 入学許可候補者発表 (3/8)

3月8日(金)、9時から本校体育館前で「入学許可候補者」の発表を行いました。今回の入試では、591名が受検、368名が入学許可候補者になりました。入学許可候補者になった中学生の皆さんも、残念にも当日十分に実力を発揮できなかった皆さんも、これからまたゆまめ努力を続けて、自分の夢の実現に向かって進んで行って下さい。

